

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地				
大原トラベル・ホテル・ブライダル専門学校浜松校	平成6年3月30日	藤井 達也	〒123-1234 静岡県浜松市中区板屋町101-8 (電話) 053-455-4554				
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地				
学校法人名古屋大原学園	昭和57年9月28日	村松 紳年	〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅三丁目20番8号 (電話) 052-582-7733				
目的	観光(旅行・運輸)業界等への就職を目標に、実務上必要とされる国内や海外の幅広い知識や観光業界で必要な技能を身に付け、国内及び総合旅行業務取扱管理者試験・旅行地理検定・世界遺産検定等の資格を取得し、併せて国際ビジネス・観光業務全般の知識を身に付けることを目的とする。						
分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
商業実務	商業実務専門課程	国際ビジネス科	平成25年1月29日 文部科学省告示	—			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1920	1716	0	204	0	0
単位時間							
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数			
40人	11人	3人	1人	4人			
学期制度	■1学期:4月1日～8月31日 ■2学期:9月1日～12月31日 ■3学期:1月1日～3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 出席状況・授業態度・期末試験・検定試験等の結果により、優・良・可・不可の成績評価を行う。			
長期休み	■学年始:4月1日～ ■夏季:7月16日～8月24日 ■冬季:12月25日～1月7日 ■学年末:3月11日～3月31日		卒業・進級条件	卒業(進級)審査会において出席状況・履修科目評価・資格取得状況・学納金納付状況等を総合的に勘案して決定する。			
生徒指導	■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 欠席日数に応じ面接実施および保護者と綿密連携		課外活動	■課外活動の種類 浜松市主催の国際行事ボランティアに積極的参加 ■サークル活動: 有			
就職等の状況	■主な就職先、業界等 観光(旅行・運輸)業界・接客サービス業 ■就職率 ^{※1} : 100% ■卒業者に占める就職者の割合 ^{※2} : 100% ■その他 (平成28年度卒業者に関する平成29年5月1日時点の情報)		主な資格・検定等	総合旅行業務取扱管理者試験・国内旅行業務取扱管理者試験・国内旅程管理者試験・旅行地理検定・世界遺産検定・サービス接客検定			
中途退学の現状	■中途退学者 0名 ■中退率 0% 平成28年4月1日 在学者 13名 (平成28年4月1日 入学者を含む) 平成29年3月31日 在学者 13名 (平成29年3月31日 卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 ■中退防止のための取組 進路変更希望者には本人と保護者、担任、部長(または校長)を交えて面談を行い、本人の進路希望を聞き取り、保護者の方針や本人の適正等について話し合う場を設けている。また経済的理由による退学希望者には学生支援機構や提携ローンを紹介するなど学生支援を行っている。						
ホームページ	URL://www.ohara.ac.jp/hamamatsu/						

※1「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」の定義による。

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとす。

②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員(1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいう。

③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

(「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。)

※2「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。)

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

グローバル化の進展や各国の経済成長に伴い、今後、外国人旅行者の増加が見込まれるため、観光業界では旅行、運輸、国際感覚を備えた有用な人材を求めている。観光および旅行業務に従事する上で必須とされる観光関連分野の専門技術とそれを裏付ける専門的な知識を習得させると共に、企業等との連携を図り、各種実習を通して旅行実務を身に付けた職業実践力の高い人材を育成していきたい。教育課程の編成においても企業等との連携を欠かさず、業界の動向を踏まえ、企業等からの要望・意見を取り入れながら、一層充実したものとし、結果としての教育の質の向上・維持に努めていきたい。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成29年6月1日現在

名前	所属
鈴木 隆	一般社団法人静岡県旅行業協会理事 兼 遠州鉄道株式会社 運輸営業部長
森上 大輔	株式会社JTB中部 営業担当課長
猿田 孝	アクト観光株式会社 営業課長
藤井 達也	学校法人名古屋大原学園 大原トラベル・ホテル・ブライダル専門学校浜松校 校長
山本 薫	学校法人名古屋大原学園 大原トラベル・ホテル・ブライダル専門学校浜松校 科長

(開催日時)

第1回 平成29年7月12日 予定 16:00～17:00

第2回 平成30年1月 予定

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

入学後、約半年で国内および総合旅行業務取扱管理者試験取得にむけて知識を積み上げ、9月・10月の旅行業務取扱試験に挑戦をする。そのために入学後半年間で旅行関連の基本的知識の習得を目指し、実習面では、1年次において、他学科の学生を旅客に見立てての業界見学を兼ねた添乗実務Ⅰを実施している。ここでは実際の打ち合わせから当日までの準備、車内挨拶などすべての添乗業務を体験する。また、2年次には、学生全員を旅客に見立てての国内旅行企画(バス企画)を立案して、企業と連携してプレゼンテーションを実施し、最優秀企画案を実際に国内旅行として催行する。催行当日は添乗実務Ⅱとしてすべての段取りを責任もって手配、実行する。一連の実習終了後は、学生の仕事に向き合う意識が大きく変わり、その成長ぶりが目立つようになり、その後の学生生活の充実度合、学生の職業観の変化等、学生が大きく成長していく様子がうかがえる。今後も企業等と綿密な打ち合わせの上で、引き続いて実習の充実に向けて積極的に取り組んでいく方針である。

科目名	科目概要	連携企業等
添乗実務Ⅰ	机上での学習後に実践力を養うため実際の添乗業務にて通用する力を身に付ける。	太陽観光株式会社
添乗実務Ⅱ	最前線の現場で働く方からの協力を得て、プレゼンテーションにて決定した国内旅行企画の内容に基づき実行までのすべての業務を仕事として行	アクト観光株式会社
国内旅行企画	①国内バス旅行を企画から手配まで行い、企画のプレゼンテーションまで実施する。②実際のパンフレットに掲載される国内企画旅行を立案から旅行内容の詳細まで作成する。	①アクト観光株式会社／②遠州鉄道株式会社
海外企画旅行	海外研修旅行を通して、研修内容や海外渡航情報や知識を実体験として経験する。	株式会社JTB中部

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

学園の『教育研修支援規程』第2条(教職員の義務等)に、「学園の教職員は、所属部署に関わらず、就業規則第39条(教育)の規程により、学園が必要と認める教育又は研修を受けなければならない。」(抜粋)と規定されており、この規程に基づき、教員が担当する分野の実務研修や学生への指導力向上のための研修を毎年継続的に受講させる方針である。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成29年6月1日現在

名 前	所 属
牛田 策啓	牛田策啓税理士事務所 所長
杵屋 英夫	浜松商工会議所 産業振興部 部長
鈴木 基生	田町パークビル株式会社 代表取締役
中島 俊岳	社会福祉法人聖隷福祉事業団 法人本部 人事企画課 次長
高塚 陽介	国際観光株式会社 西部営業所 次長
堀内 章伸	社会福祉法人磐田市社会福祉協議会 地域福祉課 課長補佐

(学校関係者評価結果の公表方法)

[URL://www.ohara.ac.jp/hamamatsu/](http://www.ohara.ac.jp/hamamatsu/)

5. 情報提供

(情報提供の方法)

[URL://www.ohara.ac.jp/hamamatsu/index.html](http://www.ohara.ac.jp/hamamatsu/index.html)

授業科目等の概要

(商業実務専門課程国際ビジネス科) 平成29年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			旅行業法	旅行業に関する法律の学習	1 ①	52		○			○		○		
○			旅行業約款Ⅰ	旅行業に関する約款の基礎学習	1 ①	52		○			○		○		
○			旅行業約款Ⅱ	旅行業に関する約款の発展学習	2 ①	34		○			○		○		
○			国内運送・宿泊料金	国内航空、国内JR、宿泊料金などの運賃・料金計算学習	1 ①	68		○			○		○		
○			国内観光地誌	国内の主な観光地を含む総合地理学習	1 ①	68		○			○		○		
○			出入国法令	出入国に関する法律の学習	1 ① 2 ①	84		○			○		○		
○			出入国実務	出入国に関する実務の学習	1 ① 2 ①	84		○			○		○		
○			国際航空運賃	国際線の運賃計算学習	1 ① 2 ①	68		○			○		○		
○			海外観光地誌	海外の主な観光地を含む総合地理学習	1 ① 2 ①	86		○			○		○		
○			海外旅行実務	海外旅行に関する実務の学習	1 ① 2 ①	86		○			○		○		
○			添乗実務Ⅰ	添乗実務の基礎学習	1 ①	34				○	○				○

○		添乗実務Ⅱ	添乗実務の発展学習	2 ①	34					○		○						○
○		国内旅行企画	国内旅行の企画学習	1 ③ 2 ①	84					○	○	○						○
○		海外旅行企画	海外旅行企画学習	1 ② 2 ①	52					○	○	○						○
○		インバウンド	インバウンドの基礎学習	1 ③ 2 ②	112			○			○		○					
○		異文化研究	異文化に関する基礎学習	1 ② 2 ②	68			○			○		○					
○		観光英語	観光分野の基礎英語学習	1 ②	34			○			○		○					
○		添乗英語	添乗業務に必要な基礎英語学習	2 ②	20			○			○							○
○		接客実務	接客実務の基礎学習	1 ① 2 ①	36			○			○		○					
○		サービス接遇Ⅰ	サービス接遇検定を目標としたサービス接遇の際の言葉遣いや適切な対応の仕方などを学習	1 ①	16			○			○		○					
○		海外セミナー	海外への理解、国際的知識の学習	1 ③	32			○			○		○					
○		ビジネス実習	社会人としての基礎知識学習	2 ② 2 ③	476			○			○		○					
○		コンピューター技能Ⅰ	Word検定を中心としたPC学習	1 ①	34			○			○		○					
○		英会話Ⅰ	英語の基礎学習	1 ①	32			○			○							○
○		英会話Ⅱ	英語の発展学習	2 ①	32			○			○							○

○		外国語 I	外国語の基礎学習	1 ②	34	○	○	○						
○		外国語 II	外国語の発展学習	2 ②	34	○	○	○						
○		ビジネスマ ナー演習就職 活動編	就職活動の総合学習	1 ② 1 ③	74	○	○	○						
合計				28科目		1920単位時間(単位)								

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業(進級)審査会において出席状況・履修科目評価・資格取得状況・学納金納付状況等を総合的に勘案して決定する。	1学年の学期区分	3期	
	1学期の授業期間	12週	

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。